企業に未来基準の元気を！

2017年1月18日

プレスリリース
報道関係各位

株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント
代表取締役社長　鳥越　慎二
（JASDAQ　コード 8769）

内田洋行健康保険組合がストレスチェック受検率約 96%を達成

～健康経営の実現をめざし、最上位プラン『プレミアム』を採用～

株式会社アドバンテッジ リスク マネジメント（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：鳥越 慎二、以下「当社」）は、内田洋行健康保険組合（内田洋行本社：東京都中央区、代表取締役社長：大久保 昇、以下「内田洋行」）のグループ16 社に、当社が提供するストレスチェック義務化に対応したメンタルサポートプログラム「アドバンテッジ タフネス」を導入し、義務化初年度におけるストレスチェックサービスをサポートいたしました。

内田洋行は、かねてより従業員が安全で健康に働ける職場づくりに努めており、セルフケア講座や管理職を対象としたラインケア研修、相談窓口の設置など、従業員のメンタルヘルスケアに取り組んでいます。

このたび同団体は 2015 年 12 月に施行されたストレスチェック義務化に際し、メンタルヘルスケアを一層強化し、健康経営を推進することを目的に、当社の「アドバンテッジ タフネス」の『プレミアム』プランを導入しました。ストレスチェックに留まらず、セルフケア学習ツールや医師面接、カウンセリングなどの個人のケアに加え、担当コンサルタントによる組織改善のサポートなど、最上位プランならではの総合的なサービス内容が評価されました。

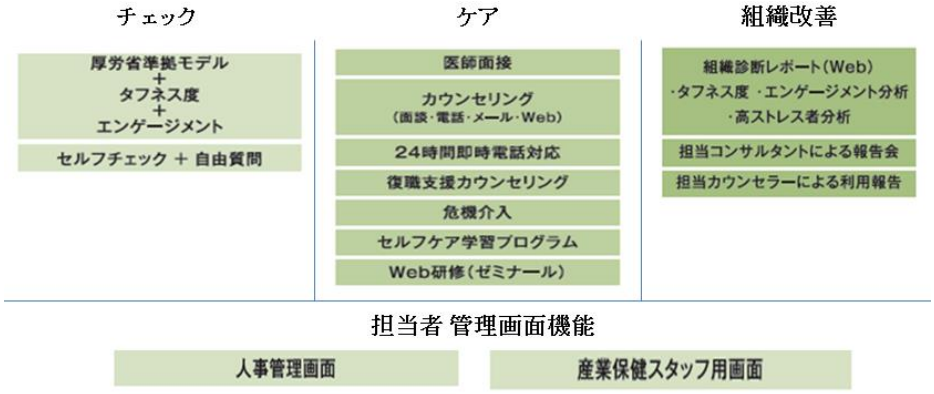
同団体では、グループ 16 社の従業員約 3,000 名に対して昨年 9 月にストレスチェックを実施し、その受検率は 95.8%と高水準となりました。現在はその結果を活かし、組織改善に向けて取り組みを進めています。

■内田洋行　担当者のコメント（人事部　小梶様）

当社では、内田洋行健康保険組合を中心（実施者）とし、グループ全体で同プランを実施し、心と体の両側面からのケア強化に努めています。そんな難易度の高い体制にもかかわらず、きめ細やかにご対応いただき大変助かっています。また、「タフネス度」、「エンゲージメント」を測定することで、多方面からの組織分析にも期待をしています。

【「アドバンテッジ タフネス」『プレミアム』プラン概要】

個人要因である「タフネス度（個人のストレス対処）」、「エンゲージメント（仕事への熱意度）」を測定するオリジナルのテストを使用。
組織活性化・生産性向上を見据え、一歩進んだ取り組みをサポートする、当社の最上位プラン。



【お問い合わせ先】
株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント　http://www.armg.jp
（取材・広報に関して）　経営企画部 ： 小林 幸子／大橋 健一　TEL：03-5794-3890
（サービス内容に関して）　メンタルヘルスケア部門統括 東京営業本部　TEL：03-5794-3830